

# 地震概況 (平成16年新潟県中越地震)

## 観測史上最大の直下型地震

10月23日17時56分頃に新潟県中越地方の深さ約13kmでマグニチュード6.8の地震が発生し、震度計による観測が始まって以来初めて川口町で最大震度7を観測した。また、同日18時11分頃にマグニチュード6.0、18時34分頃にはマグニチュード6.5の地震が発生し、川口町で強震観測史上最大値となる最大加速度2,515ガル(震度6強)を観測した。

県都・新潟市に壊滅的な被害をもたらした40年前の「新潟地震」(1964年6月16日、マグニチュード7.5)は、新潟県北部の日本海粟島沖を震源地とした「海溝型」地震だった。これに対して、「新潟県中越地震」は本震・余震のいずれも深さ約5キロメートルから約20キロメートルの浅い所で地層がずれて発生した。1995年1月17日に神戸市を直撃した阪神・淡路大震災と同様の「直下型」の大地震となった。

### 23日17:56に発生した本震における震度分布 (震度5以上の主な地点)

震源地 震度7 震度6強 震度6弱 震度5強 震度5弱



### 地震の状況 (震度5以上) (H16.12.28 19:00 現在)

震源時 月日	時分	マグニチュード	震源の深さ (km)	最大震度
10月23日	17:56	6.8	13	7
	17:59	5.3	16	5強
	18:03	6.3	9	5強
	18:07	5.7	15	5強
	18:11	6.0	12	6強
	18:34	6.5	14	6強
	18:36	5.1	7	5弱
	18:57	5.3	8	5強
	19:36	5.3	11	5弱
	19:45	5.7	12	6弱
	19:48	4.4	14	5弱
10月24日	14:21	5.0	11	5強
10月25日	0:28	5.3	10	5弱
	6:04	5.8	15	5強
10月27日	10:40	6.1	12	6弱
11月4日	8:57	5.2	18	5強
11月8日	11:15	5.9	ごく浅い	5強
11月10日	3:43	5.3	5	5弱
12月28日	18:30	5.0	8	5弱

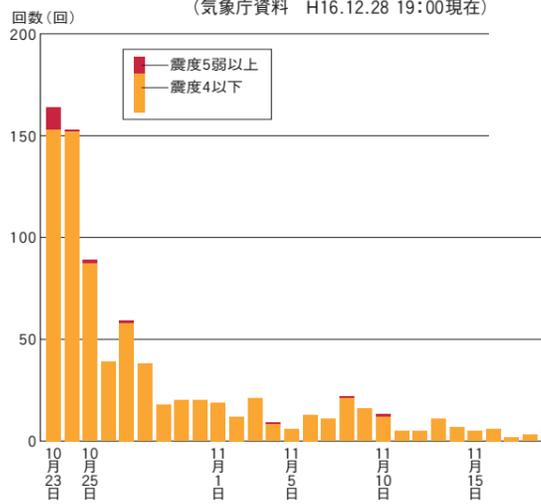


魚沼市小平尾地区で確認された地震断層 ((独)産業技術総合研究所 提供)

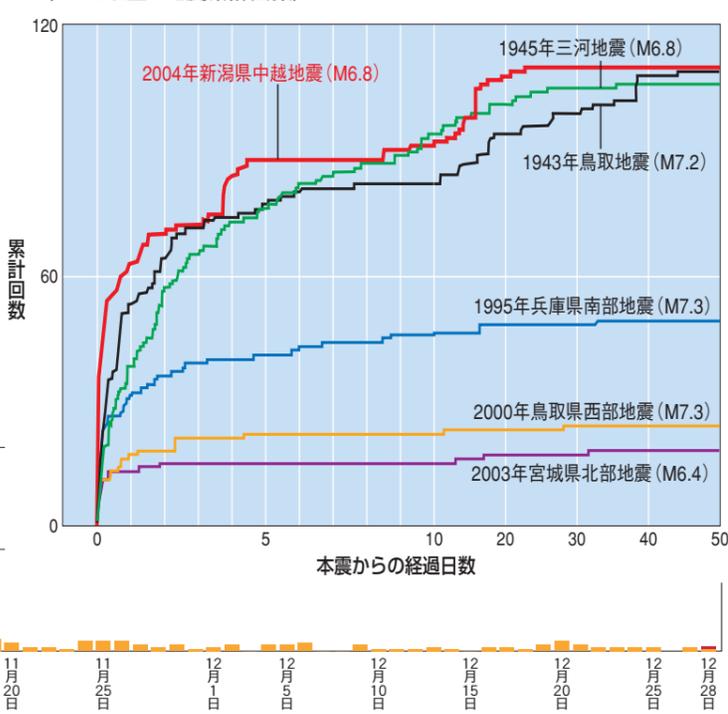
## 震度5以上の余震が断続的に発生

本震直後から断続的に発生している余震は、12月28日19時までに延べ877回(震度1以上)を数え、本震発生より4日を経た27日10時40分頃にも、震度6弱(マグニチュード6.1)の余震が発生している。今回の地震は震度5以上の余震が長期間に、しかも断続的に発生していることが、大きな特徴と言える。

### 新潟県中越地震の有感地震発生回数 (気象庁資料 H16.12.28 19:00現在)



### 過去の地震活動と新潟県中越地震の余震活動 (気象庁資料) (M4.0以上の地震累計回数)



## 地震発生からこれまでの動き

- 10月23日**
  - 17:56 新潟県中越で震度7、M6.8の地震発生
  - 18:00 北陸地方整備局災害対策本部を設置、地震災害の非常体制を発令(管内4支部が非常体制、8支部が警戒体制、6支部が注意体制をそれぞれ発令)
  - 18:10 直轄国道の異常時巡回開始
  - 18:11 新潟県中越で震度6強、M6.0の余震発生
  - 18:25 直轄管理河川の巡視開始
  - 18:34 新潟県中越で震度6強、M6.5の余震発生
  - 19:20 ヘリコプター(北陸地整備上)による被害状況調査を開始
  - 19:45 新潟県中越で震度6弱、M5.7の余震発生
  - 21:00 港湾・空港施設は点検の結果、異常がないことを確認
  - 21:40 東北地整備有「みちのく号」による被害状況調査を開始
- 10月24日**
  - 北側国土交通大臣が被災地を視察
  - 13:00 関越自動車道に必要な応急復旧を実施し、緊急車両が通行可能な通路を確保
- 10月25日**
  - 1:00 直轄国道は概ねの箇所で緊急復旧を完了し、緊急車両と被災地域車両の通行を確保
  - 24:00 直轄河川で甚大な被害を受けた長岡市三俣野地先の信濃川右岸堤防の応急復旧完了
- 10月26日**
  - 小泉総理大臣が被災地を視察
- 10月27日**
  - 7:30 新潟空港の24時間運用開始
  - 10:40 新潟県中越で震度6弱、M6.1の余震発生
- 10月30日**
  - 蓮実、岩井両国土交通副大臣が被災地を視察
- 11月2日**
  - 16:20 国道17号が全線で通行可能に(和南津トンネルが片側交互通行で開通)
- 11月5日**
  - 11月2日に新潟県知事から国土交通大臣に国道291号の災害復旧と芋川流域等の砂防事業についての支援要請を受け、北陸地方整備局内に「中越地震復旧対策準備室」を設置 国土交通省の関係機関による「国土交通省復旧・支援対策現地連絡会議」を開催
  - 16:00 関越自動車道長岡IC~小出IC間 通行止め解除。暫定2車線で通行開始
- 11月6日**
  - 天皇・皇后両陛下が被災地をご訪問
  - 11月5日に芋川流域の東竹沢地区及び寺野地区の砂防事業を直轄砂防災害関連緊急事業として採択し実施
- 11月8日**
  - 市町村所管の公共土木施設の災害復旧に必要な現地調査や工法検討業務を支援するため、「新潟県中越地震災害復旧応援派遣本部」を設置。東北・関東・中部・中国・四国の各地方整備局職員が参集し、応援活動を開始
- 11月10日**
  - 直轄河川の応急対策を完了(1箇所を除く)



災害対策本部委員会議の様子



被災状況を調査した「みちのく号」

- 11月11日**
  - 国道291号災害復旧事業の権限代行が告示
  - 国道291号災害復旧及び芋川流域等の砂防事業の直轄化に伴い、「中越地震復旧対策準備室」を「中越地震復旧対策室」に改称
- 11月12日**
  - 芋川河道閉塞対応のための「芋川河道閉塞現地対策室」を湯沢砂防事務所内に設置
- 11月16日**
  - 脱線したJR上越新幹線「とき325号」の車両が撤去完了
- 11月17日**
  - 中野、伊達両国土交通大臣政務官が被災地を視察
  - 学識経験者と行政関係者による「芋川河道閉塞対策検討委員会」を設置。第1回会議を開催
- 11月18日**
  - 学識経験者と専門家による「国道291号災害復旧技術検討委員会」を設置。第1回会議を開催
- 11月24日**
  - 長岡市と刈羽郡小国町で仮設住宅の入居開始
- 11月26日**
  - 国土交通省非常災害対策本部を改組し、「国土交通省災害復旧・復興支援本部」を設置
  - 16:00 関越自動車道 長岡IC~小出IC間 暫定2車線から4車線で通行開始
- 11月29日**
  - JR信越本線柏崎~長岡間が運転再開
- 11月30日**
  - 山古志村復旧支援関係省庁会議を開催
- 12月4日**
  - 山古志村東竹沢地区の河道閉塞箇所において、「仮設排水管」による排水を開始
- 12月5日**
  - 国道291号の復旧工用道路完成。山古志村梶金地区に残された自家用車を撤去
- 12月10日**
  - 新潟県中越地震復旧・復興支援部会を設置。第1回会議開催
- 12月19日**
  - 山古志村寺野地区の応急対策(表面排水路工)完了
- 12月22日**
  - 仮設住宅への入居等により全ての避難所が閉鎖
- 12月26日**
  - 14:55 国道17号和南津トンネルの片側交互通行規制解除。2車線で通行可能に
- 12月27日**
  - JR上越線小出~宮内間、飯山線越後川口~十日町間が運転再開
- 12月28日**
  - JR上越新幹線の長岡~越後湯沢間が運転再開
  - 今後の復旧事業及び復興支援を一括かつ効率的に推進するため、「新潟県中越地震北陸地方整備局復旧・復興本部」を設置
  - 山古志村東竹沢地区の仮排水路を整備し、応急対策(融雪期対応)を完了
  - 15:30 芋川河道閉塞の応急対策完了を受け、北陸地方整備局災害対策本部は非常体制を注意体制に移行

※ 太字は震災復旧に関する主な出来事